

野生鳥獣による

被害を減らすために



近年、市内全域で、サルやイノシシ、シカ、クマ、鳥類などさまざまな野生鳥獣による被害が発生しています。市では、捕獲や駆除をはじめとする対策を行っていますが、被害が終息することはなく、これまで以上に皆さんの協力が必要です。今回お知らせする点に留意し、地域ぐるみで野生鳥獣対策に取り組みましょう。

地域でできる対策

- ◆ 次の点に注意し、野生鳥獣を寄せ付けないようにしましょう。
- ◆ 各家庭では、生ゴミや空き缶などを屋外に放置しない。また、ペットの餌などの保管場所にも十分注意する。
- ◆ 集落内にある柿や栗などの果物を、可能な限り早めに収穫する。
- ◆ 農地や人家周辺の茂みを刈り払い、野生鳥獣が身を隠せないように見通しを良くする。
- ◆ 電気柵やフェンスなどを設置し、野生鳥獣の農地への進入を防ぐ。



- ◆ 安全に十分注意しながら、ロケット花火などを利用し、野生鳥獣を追い払う。

鳥獣の捕獲

市では、農作物や生活環境などに深刻な被害が生じた場合には、野生鳥獣の捕獲（駆除）を実施しています。また、サル・シカ・イノシシに対しては、適正な保護管理を目的に、個体数調整事業を実施しています。捕獲は、地元の猟友会の協力を得て行いますので、安全で適切な捕獲が実施できるよう、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。※狩猟免許試験については、情報ページ26ページに掲載しています。

緩衝帯を整備します

手入れ不足の里山林や、それに隣接した耕作放棄地は、野生獣の格好の隠れ場所になります。平成20年度から実施している「とちぎの元気な森づくり事業」では、野生獣を寄せ付けない環境を整備するため、野生獣の被害が発生、または発生する恐れのある農地や住宅に隣接する森林の藪化などを解消しています。この事業を積極的に活用し、野生鳥獣の被害対策へ取り組んでいただく



クマによる皮剥ぎ被害。

森林の被害防止のため市が支援を行います

市では、野生鳥獣による立木の皮剥ぎ被害対策に対して補助制度を実施しています。補助対象者：市内に森林を所有し森林施業を行う個人や団体で、所有森林の一定範囲にわたって野生獣による被害を受けている者。※市税などの滞納がない者に限る。補助金額：被害防除資材費用の3分の2（上限50万円）

野生鳥獣対策は各地域ごとに行っていますので、詳しくは各地域の担当課へお問い合わせください。

農林課	☎(21) 5172
①産業建設課	☎(54) 1114
②産業建設課	☎(76) 4109
③産業建設課	☎(93) 3117
④産業建設課	☎(97) 1133

多文化共生のまちづくり

「多文化共生のまちづくり、どんなまち？」



日光市には、26力国もの異なる国籍や文化・習慣を持った外国人が、約700人も住んでいることをご存知ですか？

市では、国際観光文化都市を目指していますが、同時に「心の国際化」も目指し、多文化共生社会に向けてさまざまな取り組みを行っています。

多文化共生社会とは、国籍や習慣などの異なる住民同士が、互いに異なる生活習慣や価値観などを尊重し認め合いながら、力を合わせて暮らしやすいまちづくりをしていくというものです。

このコーナーでは、多文化共生について、その考え方や意義などを定期的にお知らせします。

▼多文化共生ってなに？

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成

▼どうして多文化共生が必要なの？

市内に住む外国人は、日光に生活拠点を置き、日本人と同じように働くなど、日本人と一緒に日光市を支えています。

その一方で、多くの外国人住民は、日本語があまり得意ではないため、日本で生活する上でのルールなどを理解することは難しく、日本人と話す機会が少ないので日本人の友人もできにくいようです。しかし、日本人も外国人も同じ日光市の住民です。言葉や生活習慣の違いはありますが、お互いを理解し、協力し合っていくことが、よりよい地域づくり・まちづくりを行う上で必要なのです。

原稿：観光交流課 国際交流係

アンダーパスの冠水にご注意ください!!

くわしくは

国道・県道について	県日光土木事務所保全部	☎(53) 1221
市道について	今市地域：維持管理課	☎(21) 5160
	日光地域：①産業建設課	☎(54) 1114

◆雨と冠水

台風や集中豪雨、さらに頻発するゲリラ雷雨などで、短時間に大量の雨が降ったり、長雨が続きたりすると、道路の低い場所などに水が流れ込み道路が水没する「冠水」がしばしば発生します。市内には、国道や県道、市道が鉄道や有料道路などとアンダー形式で交差する場所のうち、冠水に注意が必要な場所が15カ所あります。

雨の日に、冠水が疑われるような場所を車で通る場合は、道路の状況に十分注意し、徐行運転を心掛けてください。

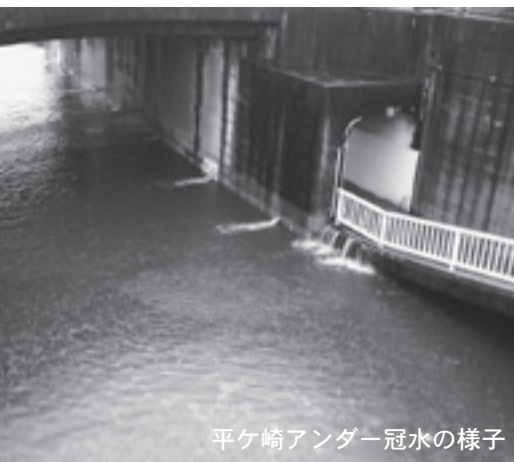
◆注意点

○車はマフラーから水が入るとエンジンが止まってしまいます。冠水が浅く見えても油断はできません。

◆通報などの協力

○冠水に気付いて停車した場合は、追突されないようにハザードランプを点灯してください。

冠水に注意の必要な15カ所のアンダーパスについては、市や県、警察署、消防署などで情報を共有し、降雨時には重点的にパトロールを実施しています。しかし、緊急の場合には通報などのご協力をお願いします。



平ヶ崎アンダー冠水の様子